

## 12 月 2 日 : VN 指数は方向感なく横ばい (VN-Index +0.06%)

- 前営業日に大きく値を伸ばした VN 指数は、本日もその方向性を引き継いで前営業日終値を上回って開始した。
- しかし、上昇基調は長続きせず、外国人投資家による売りが強まったことにより軟調相場になっていった。
- 指数は徐々に下落し、1250 ポイント付近で推移しながら慎重な投資家心理が広まった。
- 後場でも値幅は広がったものの、同様の動きを見せて推移した。
- 147 銘柄が上昇、221 銘柄が下落、85 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は減少し、前日比 11.2%減の 11.9 兆ドンとなった。

### VN30 指数も下落 (VN-30 -0.19%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずであった。
- BVH (+3.16%)はストップ高を記録した前営業日に続いて上昇トップであった。
- 多くの銘柄が下落したものの、そのすべてが 1%以下の下落にとどまった。

### セクター・個別株の動き

- 国会にて改正公共投資法が通過したことが好感され、CII (+2.13%), VCG (+3.45%), LCG (+2.49%)などの公共事業関連銘柄が上昇した。
- VCB (+0.96%)は 27.67 兆ドンの増資を発表し、同行の資本金を国内最大である 83.56 兆ドンとすることを承認した。
- 外国人投資家は最近の動きから一転し、3,040 億ドンの売り越しとなった。FPT (-0.77%)に売りが大きく集中した一方で、PNJ (+1.18%)、CTG (+0.28%)に買いが集まったものの、その額は小規模であった。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。